

令和7年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立御園中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「数と式」の単元は目標値を上回っており、基本的な計算力の向上がみられる。問題集やタブレットドリルなどを用いた、「繰り返し学習」を行った成果が感じられる。(2年)
- ・基礎、活用ともに目標値を上回っており、全国平均を平均50とする標準スコアも2年連続で上昇した。問題集やタブレットを用いた繰り返し学習や、小テストによる課題の確認、活用の問題に「考える時間」をなるべくとるようにした成果が感じられる。(3年)

(2) 課題

- ・関数の単元を苦手としている生徒が多く、特にグラフと式の関係性への理解が薄い。(2年)
- ・図形の性質、特に角度の問題や樹形図を書いて考える確率の問題を若干苦手とする生徒がいる。(3年)

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	基礎、活用ともに目標値を下回っている。活用は目標値との差が4ポイントと大きく下回っている。	/	/
第2学年	基礎、活用ともに目標値を下回っている。ただ基礎については目標値とほぼ同等となった。	基礎、活用ともに目標値を下回っている。基礎は目標値との差が4.4ポイントと大きく下回っている。	/
第3学年	全体として目標値を3.8ポイント上回った。特に活用は5.8ポイント上回った。	全体として目標値を上回った。昨年底かった基礎は目標値を上回り活用は若干下回った。	基礎は目標値を若干下回っているが、活用は目標値を若干上回っている。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を4.8ポイント下回っている。分数の計算を苦手としている生徒が多い。	目標値を0.8ポイント下回っている。データの説明の問いは目標値を13.8ポイント下回っており、苦手としている生徒が多い。	授業時は主体的かつ協働的に学習に取り組む様子が見られる一方、日々継続して学習を進めることに課題が見られる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を1ポイント下回っている。1次方程式や比例式の解き方を苦手としている生徒が多い。	目標値を3ポイント下回っている。おうぎ形の問題や、記述式の問題に苦手意識が見られる。	数学に苦手意識をもつ生徒が多いが、なんとか理解しようと粘り強く学習する姿が見られる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を3.7ポイント上回っている。一部図形の性質の理解、確率を求めることについて課題がみられる。	目標値を3.9ポイント上回っている。1次関数の座標が表す数量について考え、判断する力に若干課題がある。	主体的に学習に取り組む態度は概ね身につけてきている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小学校の復習を授業にも随時取り入れ、小数や分数を含めた基本的な計算方法についての理解の定着を図る。	生徒に考えさせる時間を確保し、自分の考えを説明する機会を授業内で作るようにする。	学習内容と日常生活との関わりに気づかせることで、数学に興味、関心を抱かせるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テストを実施して既習事項の定着の確認、授業開始時の振り返りなどを通して、基礎・基本の定着を図る。	生徒に考えさせる時間を確保し、自分の考えを説明する機会を授業内で作るようにする。	学習内容と日常生活との関わりに気づかせることで、数学に関心や興味を抱かせるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テストを実施して既習事項の定着の確認、授業開始時の振り返りなどを通して、基礎・基本の定着を図る。	生徒に考えさせる時間を確保し、自分の考えを説明する機会を授業内で作るようにする。問題集や演習用プリントを活用し、多くの文章題に取り組むようにする。	学習内容と日常生活との関わりに気づかせることで、数学に関心や興味を抱かせるようにする。